



いっしょうけんめい植樹に取り組む親子

豊地
三区に
ある町有
林で、5
月21日
「コープ
未来（あ
した）の
森づくり

植樹祭」（生活協同組合コープさっぽろ室蘭地区本部主催）が開かれ、約80人のコープ会員が参加し、環境保全活動に取り組みました。

同事業は、コープさっぽろのお店でレジ袋をもらわないと0.5円が基金に積み立てられる仕組みで、その基金で北海道の森づくりに役立てようとするものです。

昨年町と5カ年計画の森林整備についての協定を締結し、今年が2回目の植樹祭。

会員らは、噴火湾を臨む景観を楽しみながら、トドマツ400本を植樹しました。

三豊の森で植樹祭 コープさっぽろが緑化活動

文化の交流で町民と親睦 国際文化の日

国際文化の日の5月21日、「対話と発展のための国際文化の日」の催しが、洞爺総合センター集客室で開かれ、約20名の子どもたちや町民が、世界各国のクラフト作り体験やダンスなどを楽しみました。

この企画は、英国青年のエレンさんとエリザベスさんが、自らが発案したもので、今回初めて開催されたイベントです。

会場は手作りした万国旗で装飾され、紙コップにマカロニを入れて作るマラカスや段ボールの仮面など、



マカロニ入りマラカス作りを指導するエレンさん(右)

工作をしながら海外の文化を学びました。

手紡ぎの毛織物を展示 恵波美恵子ホームスパン展



来場者に説明する恵波さん(写真左)

波美
恵子
ホーム
スパン
展が、
5月13
日から17
日の5日間、
旧カネム

ラ菓子舗で開かれました。

ホームスパンは、原毛を紡ぎ、その糸で織った織物のことです。

町内で11年ぶりに開いた個展には、マフラー、ストール、服地など約30点を展示し、5日間で延べ約100人が同展を訪れました。

恵波さんは「ホームスパンを知ってほしくて開きました。多くの方が来場してくれてうれしい」と笑顔で話していました。



あそびの日でゲームを楽しむ子どもたち

こども
体験
の日合
同イ
ベ
ン
ト
と
し
て
5
月
2
2
日
、
「あ
そ
び
の
日
in
と
う
や
湖
&

洞爺湖町縄文の日体験」が、午前と午後に分かれて行われ、ゲームや縄文体験などを楽しみました。

午前中に母と子の館で実施されたあそびの日は、子どもら21人が参加。ドイツゲーム、ニュースポーツ、スペース鬼ごっこなど様々な遊びを体験しました。

午後からは、入江・高砂貝塚館に移動し、室内では勾玉づくりやアンギン編みなどの体験学習を行い、屋外では、弓矢や火おこし体験を体験し、楽しい1日を過ごしました。

あそびと縄文の体験イベント ゲームや火おこしを楽しむ



まちのわだい